

平成31年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立御幸小学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、学校の状況や児童の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって児童を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、平成31年度「全国学力・学習状況調査」における本校児童の学力や学習状況の概要について、以下のとおり公表します。

また、調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを併せて掲載します。

【調査の概要】

1 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況等の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査期日

平成31年4月18日(木)

3 調査対象

小学校 第6学年(国語, 算数, 児童質問紙)

中学校 第3学年(国語, 数学, 生徒質問紙)

4 本校の参加状況

① 国語 74人

② 算数 74人

5 留意事項

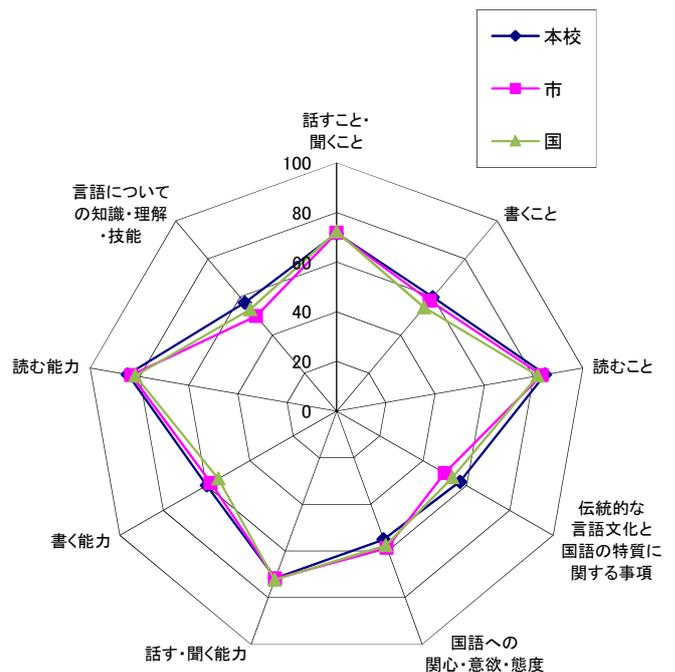
- (1) 本調査は、対象となる学年が限られており、実施教科が国語、算数、理科の3教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童が身に付けるべき学力の特定の一部であることに留意することが必要となる。
- (2) 本校の傾向等を分かりやすく示すために分類・区分別の平均正答率などを公表した。
- (3) 平均正答率の数値は調査結果のすべてを表すものではないため、「本年度の状況」、「今後の指導の重点」などの分析を併せて記載した。

宇都宮市立御幸小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	71.6	71.8	72.3
	書くこと	59.9	58.0	54.5
	読むこと	84.7	83.3	81.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	57.0	50.0	53.5
観点	国語への関心・意欲・態度	55.0	58.7	57.6
	話す・聞く能力	71.6	71.8	72.3
	書く能力	59.9	58.0	54.5
	読む能力	84.7	83.3	81.7
	言語についての知識・理解・技能	57.0	50.0	53.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

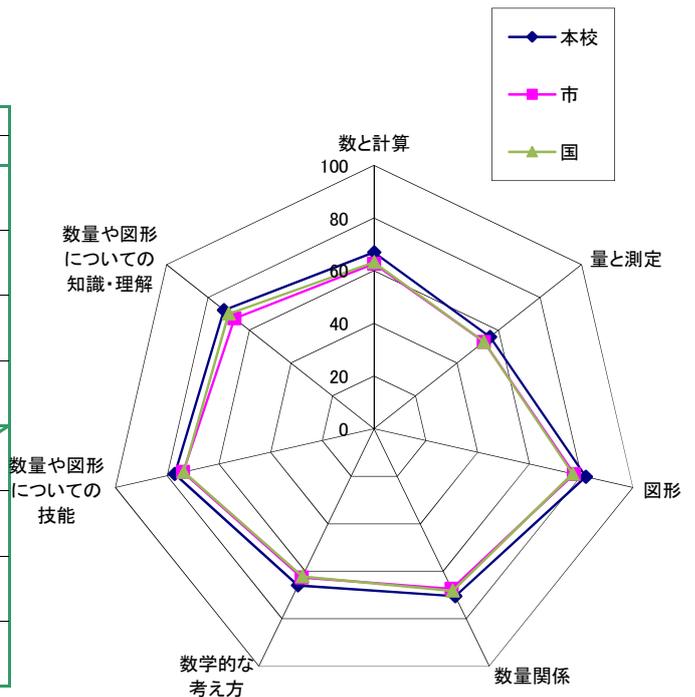
分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>○平均正答率は71.6%で、市や全国の平均正答率と同程度である。</p> <p>○「自分の理解が正しいか確認するための質問を選ぶ」問題では、平均正答率が83.8%で、全国平均の81.3%を2.5ポイント上回っている。</p> <p>●活用に関する問題では、全国平均を6ポイント下回っている。無回答率も23%と全国の14.2%より8.8ポイント高い。</p>	<p>・学習活動全体において相手の話を正確に聞き取ったり、自分の考えを表現したりする活動を多く確保する。その際、相手の意見をノートに書きとりながら聞き取ったり、自分の考えを書き加えたりする活動を意図的に推奨していくことで、話し合いに主体的に取り組むことのできる力を高めしていく。</p>
書くこと	<p>○平均正答率は、59.9%で、市の平均正答率と同程度、全国を5ポイント以上上回っている。そのうち、報告する文章の資料の用い方や書き方の工夫に関する問題では全国平均よりも約7ポイント上回っている。</p> <p>●「分かったことを文章で書く」問題は、全国平均正答率を0.9ポイント上回っているが、無回答率も6.8%と全国よりも3ポイント上回っている。</p>	<p>・普段から書く活動を取り入れる。</p> <p>・国語をはじめとしてその他教科や特別活動においても、自分の考えを簡潔にまとめる活動を多く取り入れ、書くことに対して慣れさせていく。</p>
読むこと	<p>○平均正答率は84.7%で、市の平均正答率と同程度、全国を3ポイント上回っている。</p> <p>●「資料から読み取ってまとめて記述する」問題では、全国平均正答率より2.9ポイント低くなっている。無答率も全国より1.8ポイント高い。</p>	<p>・朝5分読解ドリルを継続して行い、内容を読み取る力をつけていく。</p> <p>・目的に応じて文章の中から必要な情報を見つけて読むことや、読み取った内容を要約して書くなどの活動や学習を意図的に増やしていく。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>○平均正答率は57.0%で、市の平均正答率を7ポイント、全国を3ポイント以上上回っている。</p> <p>●同音異義語の問題は全国平均正答率より約17ポイント低い。また、ことわざの意味を理解する問題では、全国平均正答率の73%より1.4ポイント低い。</p>	<p>・学年別配当漢字については、いろいろな漢字の使い方について学習していく。</p> <p>・俳句、ことわざ等の日本古来の言語への理解に課題が見られるので、活用する機会を増やしていく。</p>

宇都宮市立御幸小学校第6学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【算数】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と計算	67.0	62.7	63.2
	量と測定	55.9	52.9	52.9
	図形	81.8	77.3	76.7
	数量関係	70.5	67.4	68.3
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方	66.0	62.7	62.2
	数量や図形についての技能	77.0	73.8	73.6
	数量や図形についての知識・理解	72.3	67.2	70.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>○平均正答率は、67%で市・全国の平均正答率を約4ポイント上回っている。</p> <p>○計算の正答率が市や国に比べて高い。学校全体で行っている、計算ストレッチを継続してきた成果であると考えられる。</p> <p>●県や全国と比べて、無回答率が高い。</p>	<p>・引き続き計算ストレッチを行い、繰り返し計算問題に取り組む。</p> <p>・記述問題の無回答率が高いため、授業の中で、自分の考えなどを書かせる機会や説明する活動を増やす。</p> <p>・授業の中で自分の考えを文や図に表し、まとめる活動を取り入れる。</p>
量と測定	<p>○平均正答率は、55.9%で市・全国の平均正答率を3ポイント上回っている。</p> <p>○図形の面積の求め方の説明がよくできている。普段の授業から様々な資料に触れさせ、情報を読み取ることを継続してきた成果であると考えられる。</p> <p>●単位量あたりの大きさの正答率が、全国の平均正答率を0.4ポイント下回っている。</p>	<p>・数量を単位量として表すことが苦手な児童が多いので、日頃の授業の中で身の回りのものを単位量で表す活動を通して、数量感覚を身に付けることができるようにする。</p>
図形	<p>○平均正答率は、81.8%で、市の平均正答率を4ポイント以上、全国を5ポイント以上上回っている。</p> <p>○図形の性質や構成要素に着目し、合同な図形をずらしたり、回したりして他の図形を構成する問題では、全国平均を8.6ポイント上回っている。</p>	<p>・図形感覚が定着してきているので、引き続き練習問題や応用問題に取り組み、更なる定着を図る。</p>
数量関係	<p>○平均正答率は、70.5%で、市の平均正答率を3ポイント以上、全国を2ポイント以上上回っている。</p> <p>○使った水の量を求めるための整数と小数の混合した計算では、平均正答率が全国平均と比べて4.8ポイント上回っている。</p> <p>●グラフを読み取ることはできるが、二つ以上のグラフを読み比べることに課題が見られる。</p>	<p>・グラフを用いて比較することが難しい児童が多いので、授業の中で様々なグラフを用いて比較する活動を取り入れる。</p>

宇都宮市立御幸小学校 第6学年 児童質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

- 自己肯定感や自己有用感についての設問に対する回答では、8割以上の児童が肯定的回答をしており、県や全国の割合を2～5ポイント程度上回っている。自分の良いところを自覚できるような活動を取り入れる、認め合いの時間を意図的に設ける、教師が称賛する場面を増やしていくなどして気持ちの維持・向上に努めていく。
- 「読書は好きか」の質問での肯定的回答率は8割で、全国平均を5ポイント上回った。週2回の朝の読書の時間、読書の記録の活用、チャレンジブック読書の奨励など、今後も読書活動に取り組んでいく。
- 「学級みんなで話し合っただけで決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか。」の質問では、当てはまると答えた児童が89.5%と、全国平均より5ポイント上回っている。「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」の質問にも8割近い児童が肯定的な回答をしている。今後も話し合い活動を通して、生活面や学習面での満足感や自己有用感、自身の成長が感じられるような活動を多くとり入れ、意欲の向上を図りたい。
- 算数の設問において、「問題の解き方が分からないときには、あきらめずにいろいろな方法を考えますか。」「もっと簡単に解く方法がないか考えますか。」などの質問では、「当てはまる」と答えた児童は県や全国と比べて7～11ポイント高いのに対し、全体の肯定的回答率で見るとどちらも県や全国の肯定的回答率をわずかに下回る。学習したことをもとに広げたり、新たな疑問や感動を見出したりすることに積極的な児童と難しいと感じる児童との差が大きい傾向があると考えられる。授業の中で、既習事項とのつながりやそれまでの学習内容を基に考えることで正解が得られる経験を多くさせるなどの活動をこれまで以上にとり入れ、達成感や学習に対する興味関心が高まるような指導を続けていく。
- 「国語の勉強は好きですか。」「算数の勉強は好きですか。」の質問で肯定的解答率は国語は9ポイント、算数は10ポイント、県平均より低く、全国平均と比べてもそれぞれ4ポイント、8ポイント低い結果が出ている。しかし「国語の勉強は大切だと思いますか。」「算数の勉強は大切だと思いますか。」の質問に対しての肯定的回答率はどちらも市平均や全国平均とほぼ同じである。授業や学習内容を定着させることの重要性の認識は維持・継続しつつ、学習に対する興味関心が一層高まるような授業の展開をしていく。
- きまりを守ることにに対する設問では9割の児童が肯定的回答をしたものの、県や全国の割合より2～5ポイント下回った。集団生活においてきまりを守ることは、生活面・学習面どちらの面からみても重要なことであると考えられる。その都度指導していくことで規範意識の向上を図りたい。
- 生活習慣に関する質問では肯定的回答率が県平均よりも下回るものいくつか見られた。特に起床時刻に関する質問では県平均より13ポイント、就寝時刻に関する設問では17ポイントと大きく下回った。いずれも家庭での過ごし方との関連が考えられるため、合わせて啓発を行いたい。

宇都宮市立御幸小学校（第6学年） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業研修 基礎・基本学力の定着 読書活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた教員同士の授業研修を行う。研修は、公開授業、および提案講座の形で行う。 基礎・基本として、学校全体で行うべき学習事項を抽出、共有し、学力の定着を図る。 月曜日と金曜日の朝に図書室を開放し、読書活動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本の学力の定着については、一定の成果が得られている。 文章を書いたり、読み取ったことをまとめて記述する力については課題がある。毎時間の振り返りや自分の考えを記述する活動を今後も継続して行う。 読書を通じて語彙力の向上・定着を図る。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

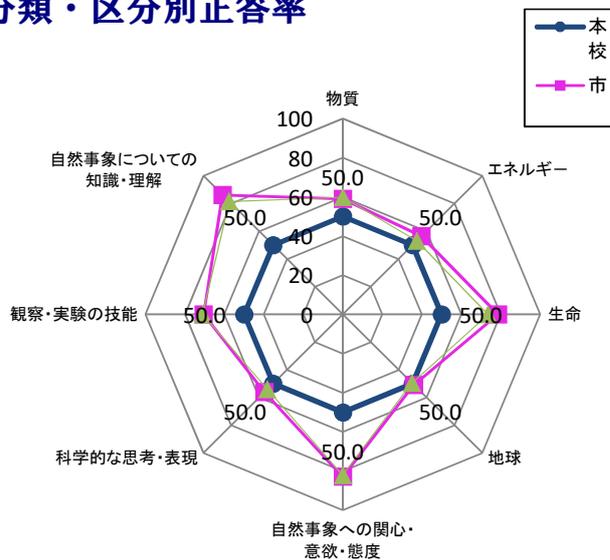
調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
<ul style="list-style-type: none"> 主に記述式の問題に課題が多い。 無回答率が高い。 引き続き基礎・基本の定着を図るとともに、発展的な学習課題についても、より一層発展的に取り組んでいく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 記述力の向上に向けた取り組み 発展的・応用的な課題に向けた取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の振り返りの記述、自己の考えや意見についての記述する活動を多く取り入れ、記述することに慣れさせる。 授業では、発展的・応用的な課題を積極的に取り入れ、多角的に思考したり、適切に表現したりする力を高めていく。

宇都宮市立〇〇〇小学校第6学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【理科】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	物質	50.0	59.0	59.8
	エネルギー	50.0	56.4	53.1
	生命	50.0	78.6	73.6
	地球	50.0	50.9	49.5
観点	自然事象への関心・意欲・態度	50.0	82.9	82.1
	科学的な思考・表現	50.0	56.1	54.1
	観察・実験の技能	50.0	70.6	71.1
	自然事象についての知識・理解	50.0	86.2	81.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
物質	○ ●	
エネルギー		
生命		
地球		